

道徳科学習指導案

■題材 一生懸命じゃいけないの？ C-11 相互理解、寛容 C-16 よりよい学校生活・集団生活

■対象：小学校高学年～中学校

■教材について

ウェブマンガ教材

いじめや人権、話し合おう、変えていこう。「Changers (チェンジャーズ)」より

「いじめといじり、どう違う？」 <https://wearechangers.jp/comic/02.php>

本教材では、クラスのために一生懸命がんばる子と、その子に反感をもつ周囲との関係において生じる問題が描かれます。私たちが生きていく上で、正義感をもって行動したり、一生懸命にものごとに打ち込んだりすることはとても大切なことです。しかし、時にそうした行動が原因で、周囲との軋轢が生じることもあります。また、周囲の側が対話的ではない手法でその子を排除しようとすることもあるかもしれません。こうした問題は、両者のどちらかに非があると特定すれば解決するようなものではありません。本教材で描かれるような非・対話ゲームはどうすればチェンジすることができるのか、前向きにアイデアを出し合っしてほしいです。

また、本教材にはいじめる側といじめられる側の間に立つ、いわゆる「傍観者」の立場の者も描かれます。いじめ抑止のためには傍観者の行動が鍵となるとも言われています。そうした視点から議論を深めることも重要な課題となります。(ウェブサイトより引用)

■話し合いのポイント

- 「やりすぎた美月さんが悪い」あるいは「無視するクラスメイトが悪い」といったように、どちらか一方の否を指摘することによって、問題は解決するのだろうか。
- そもそも美月さんはどういう気持ちから、クラスメイトに注意をしていたのだろうか。
- 過度に注意をされて嫌な気持ちとなったこと自体は、個人の感情として尊重されるべきであろう。しかし、だからといって、集団で無視をするという行動をとってよいのだろうか。
- 傍観者がいじめを抑止するような行動をとることによって、いじめは深刻化しづらくなる。美月さんとクラスメイトの間に立つことになった小花田さんなりにできることはないだろうか。また、小花田さんがなぜ葛藤しているのか想像できるだろうか。

■授業展開例

活動内容	補足・留意点等
1. マンガに描かれている問題点を共有する。 <ul style="list-style-type: none">• 今クラスのみんなで一生懸命がんばっていることはあるか、クラスのために自分がかんばっていることはあるか等を思い出す。• 教材「一生懸命じゃいけないの？」を視聴する。	<ul style="list-style-type: none">• 身近な例をあげ、本時のテーマについて想像しやすくする。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の内容や問題点をおさえる。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 小グループで、教材を視聴した感想をざっくばらんに話し合う。 ➤ どのような問題が生じているのか（小花田さんは何にこまっているのか？）を確認する。 	
<p><u>2. 問題点について深く考えるために、登場人物の状況や気持ちを想像する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q: <u>あなたが小花田さんだったら、このあとどうしますか？ 自分の考えに近いものを次の選択肢から選んで、理由も書いてください。</u> <ul style="list-style-type: none"> ◇ A: 美月さんに声をかける。 ◇ B: クラスメイトに声をかける。 ◇ C: 今は様子を見る。 ・ <わくわくの実>と<意見分類>を自由に見て、クラスメイトの意見や、クラスの状況を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <AIAI モンキー>の設問1を用いて、選択肢と理由を提出させる。
<p><u>3. クラス全体で、問題点について多面的・多角的に考える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラス全体に対して、個人の意見や<AIAI モンキー>を見た感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 例) 美月を助けたいが自分も無視されるのが怖くて行動できない、無視はよくないので勇気をもってクラスメイトに言うべき、美月はやりすぎだったので仕方ないのではないかと、まずは美月を励ます、今はまだ問題ない状況なので様子を見る、等 ・ 発表された意見をもとにして、「■話し合いのポイント」を参考に、クラスの状況に応じて話し合いを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表者に対して、選択の背後にある価値観を確認したり、相反する意見についてはどう思うかたずねたりする。 ・ 意見が出づらい場合は、登場人物の心情や願いについて改めて想像させてみる。 ・ 特定の立場からの解決策を発表して終わるだけでなく、その解決策を採用した際に困ったり傷ついたりする人はいないか想像させる。多様な意見を歓迎するが、いじめに類する行為や違法行為自体を積極的に肯定するような意見に対しては、思いを受け止めつつ、その行為の問題性について適切に理解をしてもらおうよう留意する。
<p><u>4. まとめ：いじめゲームを変えるためには？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時での話し合いを踏まえた上で、教材のような問題に直面したとき、傷つく人がいなくなるようにするためにどうすれば状況を変えられるかということについて考える。 ・ <わくわくの実>と<意見分類>を自由に見て、クラスメイトの意見や、クラスの状況を把握する。 ・ <振り返り>に本時全体をとおしての振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <AIAI モンキー>の設問2を用いて、自由記述で提出をさせる。

